



# 苧木だより

No.8  
2012.12

## ■オーガニック・コットン栽培 ④

5月の種まきから始まった苧木の休耕田を活用して、戦前まで有明海沿岸で栽培されていた和綿を栽培するプロジェクトが10月21日（日）に収穫を迎えました。

お昼からは、綿を用いてクリスマスリースを作り、今回のプロジェクトは無事終わりました。



10月21日  収穫 



1



2



3



4



5



6



7



8

- 1.2.3 約5ヵ月かけて成長した和綿。ふわふわの美しい綿になった。
- 4 初めに村上さんに収穫の仕方を習う。
- 5 参加者約20人で支柱と綿の木を抜く。
- 6 1か所に綿を集め、枝先をカット。
- 7 収穫した綿は、約1アールの休耕田から布団1枚分（約2kg）に相当。
- 8 人と和綿で賑やかだった休耕田は、元の姿に。



お昼を食べた後は、和綿を使ったクリスマスリースを村上さんに習って作りました。



お昼ご飯はいつも地元の方に作っていただいたお礼に、今回は参加者が作り地元の方をお招きして交流を深めました。



事前に収穫して乾燥させた和綿を使う



綿線器で綿と種に分ける



染織サークル代表の村上さんに習う



カズラなどのリース素材の数々



古湯温泉女将会からいただいた素材



各々がイメージしたオリジナルリースを作る

出来上がったクリスマスリース！



■ 今後は・・・

今回のプロジェクトで苜木での和綿の栽培が成功したことから、来年は栽培面積を増やし、苜木の綿として特産品づくりを模索していく予定です。

編集後記

収穫した綿に触れると、その美しく輝く白い綿花に可能性を感じた。“ Cottonのムラ”として認知されることを願いつつ、取材を続けたいと思います。(篠原)